

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ-1	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
<p>授業のねらい</p> <p>看護による活動の援助は、ただ単に人の動きを助けるだけでなく、生活を整えるための援助であるといえる。</p> <p>本科目では、看護実践の基本となる「技術」の意味と安全・安楽かつ自立的な基本的日常生活援助技術を習得する。</p> <p>授業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解できる。 2. さまざまな体位とその目的を理解し、体位変換の援助を実施できる。 3. 車椅子・ストレッチャーについて移乗の援助と移送の援助を理解し実施できる。 4. 睡眠と睡眠障害、睡眠に障害をもつ患者への具体的な援助が理解できる。 <p>授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動援助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 安全かつ効率のよい身体の使い方。ボディメカニクス 2) 姿勢・活動に関する基礎知識 (意義、体位、アセスメント) 3) 体位変換、体位保持、起き上がり介助、歩行介助、移送 (車椅子、ストレッチャー) 2. 睡眠・休息援助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 睡眠・休息の援助 睡眠・休息に関する基礎知識 (意義、メカニズム、アセスメント) 					
<p>授業の進め方</p> <p>講義、グループワーク、演習</p>					
<p>教科書</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)</p> <p>看護技術プラクティス (学研)</p> <p>参考図書</p> <p>配布資料</p>					
<p>評価方法</p> <p>客観式テスト+演習取り組み状況 (30点)</p> <p>試験時間は時間数に含む。</p>					

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ-1	単位 (授業時間/時間数)	1 (18/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	

授業のねらい

人間と環境とは密接な関係にある。患者にとって病床は、治療・看護を受ける場でもあると共に、身体を休める、食事を取る、ときには排泄するというに、様々な生活行動の場でもある。そのため個々の患者にとって快適な場となるように病床環境を整えることは大切である。

講義を通して個々の患者の状態に合わせて病床環境を調整することは、病床から危険因子を排除し、回復のための自然治癒力の向上につながることを理解させたい。また演習では患者が休息・睡眠をとり、多くの時間を過ごすベッドを安全で快適な場にできるように、ベッドメイキング・リネン交換技術を習得させたい。

授業目標

1. 快適な日常生活を過ごすことができるように、生活環境を整える技術を習得する。
2. EBM をふまえたベッドメイキングを習得する。

授業概要

1. 生活環境を整える
 - step1 療養生活の環境について考える
 - 1) 人と環境
 - step2 環境の諸要素とその調整

1) プライバシーと環境調整	4) 騒音の原因と排除
2) 換気と臭気の排除	5) 採光と照明
3) 室温と湿度保持	
 - step3 病院、病床の環境について考える

1) 病院の構造	2) 病室の環境	3) 病床
----------	----------	-------
2. 病床を整える
 - step4 病室と病床の環境調整
 - 1) 病室の環境調整
 - 2) 色彩と備品の調和
 - 3) ベッドメイキングとリネン交換

*看護技術チェックを行う (詳細は授業にて説明する)

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ (医学書院)
看護技術プラクティス (学研)

参考図書 配布資料

評価方法

終講時 客観式テスト+演習取り組み状況 (70点)
試験時間は時間数に含む。